

フィンランド語文法：初級⑦

後置詞と前置詞・義務を表す文・-siで終わる語

「フィンランド語との対話—吉田欣吾」

<https://yoshidakingo.com/>



フィンランド語文法：初級⑦

後置詞と前置詞・義務を表す文・-siで終わる語

『フィンランド語との対話—吉田欣吾』

<https://yoshidakingo.com/>



場所に関する語（後置詞・前置詞）

- 「属格＋後置詞」

puun **alla** 木の下で／に

puun **alta** 木の下から

puun **alle** 木の下へ

- 「前置詞＋分格」

lähellä koulua 学校の近くで／に

läheltä koulua 学校の近くから

lähelle koulua 学校の近くへ



義務などを表す文

- フィンランド語では「～しなければならない」という表現では、主語に相当する人物は属格にする。

Sinun täytyy lähteä. あなたは出かけなければならない。

- ① sinun は sinä 「あなた」の属格
- ② täytyy が「しなければならない」という意味
- ③ lähteä 「出かける」は動詞のもとの形

- täytyyと同じような意味をもつ動詞にpitääがある。

- 「～する必要はない」は ei tarvitse

Sinun ei tarvitse lähteä. 君は出かける必要はない。



si で終わる名詞 (1)

- 「夏期講座：資料」の17課の最初
- si で終わる語の中に語幹が -te- になるものがある。また、t は kpt 交替をする。

käsi 「手」 > 語幹 kät**e-** : kä**d-**

たとえば内格は kädessä、入格は käteen

- このタイプの分格では si を tta/ttä に変える。

käsi > 分格 kät**tä**



si で終わる名詞 (2)

- si で終わる語で語幹が -te- になる代表的な語
käsi 「手」、vesi 「水、雨」、vuosi 「年」
kausi 「期間」、susi 「オオカミ」、
uusi 「新しい」、köysi 「綱」、
tosi 「本当の」、täysi 「満杯の」
- si で終わる語で語幹が -si- のままの語
lasi 「グラス、ガラス」

